

## 取引先へ外国人材の働きぶりを見てもらう機会を創出。信頼を獲得し、安心して働ける環境づくりに

元々、日本人の採用はある程度計画通り進んでいたため、外国人材の受入れは人員補填のみの施策ではなく、企業として今後の取引・業務拡大を見据えて多様な人材採用に舵を切ることを見断し、受入れを開始した。

当初より経営層の判断で受入れを始め、現場社員も受入前から同業他社で勤勉に働く外国人材を見ていたこともあり、抵抗は大きくはなかった。一方で、取引先の一部において、外国人材に対するネガティブな先入観や不安が見受けられた。そこで、取引先へも事前に外国人材の業務内容や作業状況を実際に見てもらう機会を設け、理解促進に努めた。

その結果、徐々に不安は払拭され、現在では外国人材の業務遂行能力や責任感が高く評価されるまでに至っている。

### 現在の受入れ状況

2017年から外国人材（技能実習）の受入れを開始。現在は、カンボジアからの技能実習3名、特定技能4名が活躍している。また、「建設」で特定技能を取得している1名は、2025年9月に「自動車運送業」の資格も取得。



今では、特定の外国人材を名指しで現場対応を希望されるケースも増えた。また、外国人材の勤勉さから、業務現場においても複数名でペアを組んで作業を行う際には「外国人材の〇〇さんと組んで業務を行いたい」といった希望が社内から自発的に挙がることも多く、社内外問わず、外国人材が重要な戦力として必要とされる存在となっている。

これらの取組を通して外国人材も「自身が必要とされる存在」という自覚が持て、安心して働くことができ、定着に繋がっていると考えている。

## 長期的な活躍支援のため、各種資格取得の支援や定期的に外部講師を招致し、安全講習を実施

外国人材の能力向上および長期的な活躍を支援するため、各種資格取得を積極的に促進している。具体的には、会社負担により、とび技能士、玉掛け技能、フォークリフト運転技能、準中型自動車免許等の資格取得を支援。

また、外国人材も日本人のドライバーと一緒に、外部講師を招致した定例の安全講習に参加している。運転に関する安全教育に加え、日本国内での交通マナーや業務上の注意点について指導を行い、安全性の確保と業務品質の向上を図っている。これにより、外国人材の技能・意識の両面におけるレベルアップを継続的に推進。

これらの取組を通じ、企業として外国人材に対する期待や評価を明確に示すことにより、就労意欲の維持・向上および定着促進の効果に繋がっている。実際にこれらの取組や職場環境については評価を得ており、外国人材自らが自身の親族を自社に紹介して、入社までつながるケースも見受けられるようになった。

## 「建設」で活躍する特定技能が「自動車運送業」の資格を新たに取得！

従来より、新たな分野や業務に積極的に挑戦できる教育体制の整備に取り組んできた成果として、既に取得していた特定技能「建設」に加え、2025年9月に特定技能「自動車運送業」の資格を新たに取得する外国人材も誕生した。

ドライバー職においては、今後さらに深刻な人手不足が予想されている中、多様な人材で多様な業務ニーズに応えられる態勢を築くため、外国人材の採用数拡大も計画している。

「将来ドライバーを目指したい」「資格取得に挑戦したい」といった希望を持つ外国人材が安心と成長を実感しながら就労を継続できるよう、支援していく方針。

